

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	02	01	164370	森林保全啓発事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1 農林業の振興				
	施策	5 森林の保全				
目的	森林保全の意識啓発					
対象	森林整備の関わりについて啓蒙普及を推進、実践したい市民					
意図	森林保全の意識啓発と森林保全活動の普及をする。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○地域活動、ボランティア活動支援 豊沢川の森森林体験支援 修学旅行体験支援 ○森林保全意識啓発 601千円 木工体験教室 自然観察会 植樹祭 ○森林保全活動啓発 3,565千円 山仕事入門講座 自伐型林業養成講座 安全講習 自伐型林業セミナー 市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		<input type="radio"/> 共催 <input type="radio"/> 後援・協賛		<input type="radio"/> 実行委員会・協議会 <input type="radio"/> 補助・助成		
				<input type="radio"/> 事業協力・協定 <input type="radio"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 各種イベントの開催回数	回		計画	5	7	
			実績	6	6	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 各種イベント総参加人数	人		目標	330	290	
			実績	325	224	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		<input type="radio"/> 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載） 森林保全について啓発するため、各種イベントを開催した。子供たちを対象とした植樹体験など今後も市民への森林に対する意識啓発を図る必要があることから、継続して実施する必要がある。 目標値に至らなかった理由は、崩落等により自然観察会を中止したことと植樹体験の対象学校の児童数が少なかったことが要因であり、他のイベント等は予定どおり開催しており、計画人数を上回る参加があり意識啓発に取り組めた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	森林の多面的機能について理解を深めていくための活動であり妥当。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	イベントの内容や種類を増やすことで成果を向上させることが可能と思われる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	地域活動、ボランティア活動への支援により、コスト抑制に努めている。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	市民全体を対象とした事業である。
総合評価 …上記評価結果の総括 森林の持続的な経営と多面的機能の発揮のために、森林に触れる各種イベントを開催し、より市民の自発的活動と意識啓発を促すことができた。		

平成30年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	02	01	164370	森林保全啓発事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,521	4,166		1,645
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他	1,465	3,000		1,535
	一般財源	1,056	1,166		110

※特定財源の内訳

寄附金（ふるさと納税） 3,000千円

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

森林の健全な育成を図り多面的機能を発揮させる

事業開始の背景・経緯

森林の多面的機能への理解を深めることを目的に開始した。

事業概要

- 地域活動、ボランティア活動支援
 - 豊沢川の森森林体験支援
 - 修学旅行体験支援
- 森林保全意識啓発 601千円
 - 木工体験教室
 - 自然観察会
 - 植樹祭
- 森林保全活動啓発 3,565千円
 - 山仕事入門講座
 - 自伐型林業養成講座
 - 安全講習
 - 自伐型林業セミナー

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 農林部 課名 農村林務課 担当係長 柏葉正和 内線 6277

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1. 地域活動、ボランティア活動支援（ゼロ予算）

- ・豊沢川の森森林体験（会場準備、作業補助）
 - 時期：10月 場所：野外活動センター跡地等
 - 規模：100名程度 内容：植樹箇所の刈り払い等
- ・修学旅行森林体験支援（作業補助）

2. 森林保全意識啓発 601千円

- ・自然観察会 0千円
 - 崩壊地が発生したため中止
 - 時期：中止 場所：大空滝～中山峠のブナ林
 - 参加：- 内容：ガイドによる自然観察（樹木等）
- ・木工体験教室 139千円
 - 需用費137、役務費2
 - 時期：1月 場所：JAいわて花巻 総合営農指導拠点センター
 - 参加：親子21組 内容：親子木工体験
- ・林業（植樹）体験 462千円
 - 需用費83、委託料379
 - 時期：5月 場所：新堀市有林
 - 参加：21名（新堀小学校） 内容：植樹

3. 森林保全活動啓発 3,565千円

- ・山仕事入門講座 906千円
 - 委託料906
 - 〈初級編・中級編〉
 - 時期：6～8月（全8回） 場所：市有林等
 - 参加：9名 内容：基礎動作、伐倒、道具の手入れ等
- ・自伐型林業養成講座 1,728千円
 - 委託料1,728
 - 時期：10～12月（8回） 場所：市有林等
 - 参加：24名 内容：伐倒、造材、作業道敷設、木材搬出等
- ・安全講習 400千円（新規）
 - 委託料400
 - 森林保全活動を推進するうえで、既に活動している方も含め安全作業の再確認を促す。
 - 時期：8月、12月 場所：市内
 - 参加：30名 内容：林業・木材製造業労働災害防止協会の安全衛生教育に準じた安全講習
- ・自伐型林業フォーラム 531千円（新規）
 - 需用費97、委託料434
 - 低コストで参入容易な自伐型林業を事例発表等により学び、人材の掘り起こしを行う。
 - 時期：8月 場所：市内
 - 参加：82名 内容：長伐期施業による先進的な林業技術を学ぶセミナー

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	02	02	164420	森林環境保全事業(総括表)	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	5	森林の保全			
目的	民有林の保全					
対象	民有林（市有林・私有林）及びその赤松					
意図	民有林を保全する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○森林病虫害駆除 36,580千円 赤松枯損木の伐倒駆除（焼却またはくん蒸） 市有赤松への薬剤樹幹注入作業 森林整備事業による樹種転換（市有林） 私有林赤松への樹幹注入に係る補助 ○森林管理維持増進 1,728千円 私有林の巡視						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 駆除材積	m3	計画		1,725	1,645	
		実績		1,314	1,576	
② 私有林巡回回数	回	計画		176	176	
		実績		176	172	
③		計画				
		実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 松くい虫被害量	m3	目標		5,126	4,495	
		実績		5,560	4,311	
②		目標				
		実績				
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
被害の蔓延化が進み、県が定める被害地域区分も先端地域から高被害地域に変更になった。限られた予算と投下できる作業量から考慮すると全量駆除は困難であり、被害が激減することはないが、一方で蔓延化が進み新たな被害木は減少傾向にある。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	森林の機能維持、林業振興の妨げになる森林病虫害であるので駆除は必要。また、市街地区域における生活に支障になる倒木を防ぐためにも必要な事業である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	被害対策防止のためのあらゆる対策を講じているが、根絶にはつながらない。しかし、事業を中断することは森林の荒廃から林業振興の停滞し生活に支障を来す危険な枯損木が増加するので事業を継続する必要がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	被害の蔓延化により、補助金の確保が困難になっている。駆除の方法や区域の見直しを検討し、効率的な駆除をすすめる。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内全域で駆除しているので適正である。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
民有林保全のため、松くい虫被害拡大の防止するとともに、林野火災等森林災害の未然防振ため、敵愾な維持管理を行った。 被害の蔓延化により、補助金の確保が困難になっているため。駆除の方法や区域の見直しを検討し、効率的な駆除と守るべき松林の樹幹注入、市有林が率先し樹種転換を進め被害拡大防止の成果をあげた。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	06	02	02	164420	森林環境保全事業(総括表)

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		47,784	38,308		△ 9,476
財源内訳	国・県	19,415	13,298		△ 6,117
	地方債				
	その他				
	一般財源	28,369	25,010		△ 3,359

※特定財源の内訳

森林病虫害等駆除事業補助金2,739千円・防除事業2,050千円（補助率75%）
 森林整備事業補助金[衛生伐]1,349千円（補助率75%）・[特殊地拵]2,353千円（補助率70%）
 いわて環境の森整備事業4,807千円（補助率100%）

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

森林の健全な育成を図り多面的機能を発揮させる

事業開始の背景・経緯

平成8年度に市内で松くい虫被害が確認されたことにより、駆除及び防除対策を開始した。

事業概要

- 森林病虫害駆除 36,580千円
 赤松枯損木の伐倒駆除（焼却またはくん蒸）
 市有赤松への薬剤樹幹注入作業
 森林整備事業による樹種転換（市有林）
 私有林赤松への樹幹注入に係る補助
- 森林管理維持増進 1,728千円
 私有林の巡視

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 農林部 課名 農村林務課 担当係長 柏葉正和 内線 6277
 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1. 松くい虫被害対策 36,580千円

被害拡大防止のための計画的な面的駆除箇所の徹底（すみ分け）
 自発的な被害防止対策への啓発（動機づけ）
 駆除から防除への移行を進める。（事業費軽減）
 市有林の樹種転換による防除対策モデルの構築と率先拡大防止策
 枯損被害木の自己処理啓発

【駆除対策】
29,542千円

「被害拡大防止」
 松くい虫被害防止監視帯「大迫」
 重要な松林周辺(胡四王山周辺等)
 → 国庫・県単事業
 事業費：10,193千円

倒木危険箇所、景観上好ましくない箇所
 → 市単独事業
 事業費：19,340千円

調査業務
 事業費：9千円

【防除対策】
7,038千円

「被害未然防止」
 樹幹注入事業
 胡四王山・向山
 事業費：2,757千円

樹幹注入補助金
 事業費：919千円

樹種転換
 市有林（花巻、石鳥谷）
 事業費：3,362千円

【啓発対策】

「自発的防除対策」
 広報等による啓発
 自らできる防除対策
 松くい虫のメカニズム等
 樹幹注入補助金PR
 樹種転換の促進

2. 森林管理維持増進事業 1,728千円

- 業務内容 私有林の巡視により災害の未然防止、森林育成のための調査、松くい虫被害発見及び駆除作業の集約等に役立てる
- 巡視活動の方法 巡視員の業務期間は、契約期間内において44日/年とし、森林の外観パトロールを行う。必要に応じて所有者を同行し、森林内の調査、指導を行う。
- 巡視員 巡視員は森林に関する知識と地域の実情を把握し、森林施業の適切な指導及び監督ができる者でなければならないため、森林組合へ委託する。

平成 30 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	06	02	02	164420	森林環境保全事業(総括表)

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○森林病害虫等防除委託料(詳細) 35,652 千円

【駆除分】

区分	補助率	H30当初				H30決算				備考	
		事業量 m ³	事業費	負担区分		事業量 m ³	事業費	負担区分			
				国・県	市			国・県	市		
国 県 補 助	森林病害虫等駆除事業	75%	225	5,469	4,101	1,368	161.68	3,632	2,742	890	
	森林整備事業(衛生伐)	75%	85	2,066	1,549	517	87.65	1,799	1,349	450	
	森林病害虫等駆除事業(県単)	75%	15	365	273	92	0.98	20	15	5	
	いわて環境の森整備事業(県単)	100%	500	8,779	8,779		274.82	4,742	4,742		
	小計		825	16,678	14,702	1,976	525.13	10,193	8,848	1,345	
市 単	被害木処理事業(農林)	-	490	12,000		12,000	213.92	9,776		9,776	
	被害木処理事業(支所)	-	320	8,000		8,000	558.00	9,564		9,564	
	小計		810	20,000		20,000	771.92	19,340		19,340	
	合計		1,635	36,678	14,702	21,976	1,297.05	29,533	8,848	20,685	

支所分内訳

	事業量 m ³	事業費
大迫	237.75	3,776
石鳥谷	91.50	1,835
東和	228.75	3,953
計	558.00	9,564

【樹幹注入分】

区分	補助率	H30当初				H30決算				備考	
		事業量 本	事業費	負担区分		事業量 本	事業費	負担区分			
				国・県	市			国・県	市		
国 庫	森林病害虫等防除事業	75%	400	5,800	4,125	1,675	187	2,757	2,089	668	
	合計		400	5,800	4,125	1,675	187	2,757	2,089	668	

【樹種転換分】

区分	補助率	H29当初				H30決算				備考	
		事業量 ha	事業費	負担区分		事業量 ha	事業費	負担区分			
				国・県	市			国・県	市		
国 庫	特殊地拵え	70%	10.00	16,485	11,539	4,946	1.97	3,362	2,353	1,009	
	合計		10.00	16,485	11,539	4,946	1.97	3,362	2,353	1,009	

○松くい虫樹幹注入補助金(市単) 919千円

薬剤購入に要する経費の1/2以内

H30実施本数 735本(3件)

参考：薬剤1本当たり3,300円/本(工賃含む) H25使用薬剤本数実績 723本
 H26使用薬剤本数実績 386本
 H27使用薬剤本数実績 1,069本
 H28使用薬剤本数実績 720本